

# 安全データシート

製品名 **KF グリース**

作成日 2011年 6月 9日

改訂日 2024年 8月 23日  
(確認日)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	KF グリース
SDS No.	GHS-0097
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の連絡電話番号	075-691-4125
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	分析機器用
使用上の制限	推奨用途以外に使用する場合は専門家に判断を仰ぐ。

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類	分類区分に該当しない
GHS ラベル要素	分類区分に該当しない
GHS 分類に該当しない他の危険有害性	280℃以上に加熱すると、有害な（腐食性のある）分解ガスが発生する恐れがある。 触媒となる金属等が共存する場合には、280℃以下でも分解することがある。 長時間における皮膚との接触により炎症を起こすことがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分

No.	化学名	CAS 番号	含有量(w/w)	化審法／安衛法 番号
1	パーフルオロポリエーテル	企業秘密により開示不可	—	企業秘密により開示不可
2	ポリテトラフルオロエチレン	9002-84-0	—	(6)-939
3	添加物	企業秘密により開示不可	—	企業秘密により開示不可

## 4. 応急措置

一般的アドバイス	被災者を一人にしない。
吸入した場合	大量に吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保つ。 必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。 かゆみや炎症などの症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせようとせず、直ちに医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	データなし
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧, 二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ), 泡, 粉末消火剤 (本品自体燃焼しない)
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	データなし
特有の消火方法	付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。
消火を行う者の保護	保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	保護具を使用する。 付近の発火源となるものを取り除く。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、漏れやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性の吸収材 (例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず) で吸収させる。 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
火災及び爆発の予防	データなし
安全取扱い注意事項	接触の恐れがある時は適切な保護具を使用する。 280℃以上に加熱したり、製品の付着した手で喫煙しないこと。

	原則として常温で取り扱い、その際、水分、夾雑物等の混入に注意すること。 ばく露防止のため、保護具を使用して作業を行う。皮膚への接触を避ける。
接触回避	情報なし
衛生対策	使用中は飲食しないこと。 使用中は禁煙。 休憩前や終業時には手を洗う。
保管	
安全な保管条件	適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。
保管安全性に関する詳しい情報	データなし

## 8. 暴露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界／許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具。
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	グリース状
色	白色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性（液体）	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限／可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限／可燃下限値	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
自然発火温度	データなし
自己促進分解温度(SADT)	データなし
粘度	

動粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	
水溶性	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/または相対密度	約 1.96 (20 °C)
比重	
相対ガス密度	データなし
粒子特性／粒子サイズ	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	特記すべき反応性なし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強塩基、アルカリ金属、アルカリ土類金属、ルイス酸
危険有害な分解生成物	280°C以上に加熱すると、有害な（腐食性のある）分解ガス（フッ素化合物）が発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性	利用可能な情報に基づく限り分類されない。
皮膚腐食性／刺激性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
呼吸器感作性または皮膚感作性	
皮膚感作性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
呼吸器感作性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
生殖細胞変異原性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
発がん性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
生殖毒性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
特定標的臓器毒性（単 回ばく露）	利用可能な情報に基づく限り分類されない
特定標的臓器毒性（反 復ばく露）	利用可能な情報に基づく限り分類されない
誤えん有害性	利用可能な情報に基づく限り分類されない
備考	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	地方自治体の許可を得ている産業廃棄物処理業者により、焼却処分が可能。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。
汚染容器及び包装	残りの容器を空にする 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当） 供給された状態の製品には非該当
国内規制	国の特定の法規制は、「15. 適用法令」を参照する。
特別の安全対策	非該当

## 15. 適用法令

消防法	危険物，指定可燃物に該当しない。
化学物質の審査および製造等の規制に関する法律	特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	製造等が禁止される有害物 非該当 製造の許可を受けるべき有害物 非該当 健康障害防止指針公表物質 非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則-第三類物質

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令-別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

個品輸送 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

輸出貿易管理令

別表 1 の 16 項（キャッチオール規制）

## 16. その他の情報

引用文献／参考資料

NITE-Gmiccs（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

NITE-CHRIP（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

職場のあんぜんサイト（厚生労働省）

各種上流メーカーの SDS

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS データはここで指定された物質にのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。